

事業所名		つくしの家（児童発達支援）				支援プログラム		作成日		2025 年		4 月		1 日	
法人（事業所）理念		『社会福祉法人 一羊会：一匹の羊の会』という名前は、聖書中の言葉からとりました。「ある人が100匹の羊を放牧していて、その内の1匹が道に迷ってしまいました。その時99匹がいるからいいというのではなく、99匹を待たせてでも、その1匹を探しにいきましょう。そしてその1匹が見つかったら、その1匹のために喜びましょう。このように小さな者のひとりが滅びることは、天にいますあなたがたの父のみこころではない。」という言葉から付けられた名前です。ハンディを持つ、持たないに関係なく、一人ひとりが大切にされる社会のための一役となるよう歩んで行きたいと思っています。													
支援方針		知的発達や肢体不自由（障害の種類や程度に関係無く）の幼児および児童が家庭から通い、家庭との相互協力により、また療育訓練により子どもの心身の発達を助長し、積極的に各自の個性と能力の開発に努める。このため子どもの発達段階に応じた個別および集団的立場での基本的生活習慣の自立、感覚統合訓練、機能回復訓練、社会性および環境適応性を養う訓練等を積極的に実施し充実させる。この地域で生まれた子どもが地域の中で育って行くためにも、さらに社会参加を進めながら地域社会のニーズに応えることの出来る施設となることを目的とする。対象児童の人間性を理解し、個人として尊重し、家庭・園・特別支援学校・地域社会との密接なつながりのもと、各自の実態に応じた指導目標を設定し、個別指導を基本としながらグループ、集団生活への意識を高めていくように集団指導も取り入れて行く。													
営業時間		8 時		0 分から		17 時		0 分まで		送迎実施の有無		あり なし ※家庭の状況、必要に応じて対応			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	家庭と連携を取りながら、食事・排泄、着脱、睡眠・清潔面などの基本的生活習慣の確立を目指し取り組んでいく。また通院やリハビリの状況も共有しながら家庭と園とで一緒に取り組んでいく。													
	運動・感覚	園での療育活動の内容：言語（受容・表出）、社会性、療育活動（認知・運動・音楽リズム・感覚統合・製作・サークル遊び：ルールのある遊び）について、5領域と関連付けながら、個別、または集団活動として取り組んでいく。なお毎月のケース会議の中で、個々の達成状況や今後の課題・目標等について、職員全員で確認し保護者に伝えていく。													
	認知・行動														
	言語 コミュニケーション														
	人間関係 社会性														
家族支援		年間で計画する「保護者学習会」や、家庭での子育てやご家族（兄弟も含む）についての相談、また次年度の進路などについての「秋の相談」の実施。日々の連絡帳による家庭とのやりとりや、その中で必要に応じて相談の場をもつ。						移行支援		「秋の相談」についてアンケートを実施し、次年度の進路や移行時期などについて悩んでいる保護者に対して、相談を行うと共に、保育園等の体験の場や、体験後に反省会を持ちながら一緒に考えていく。次年度就学の児に対しては、学校見学や相談など教育委員会とも連携してより良い就学に向けて一緒に考えていく。また就学後に放課後等デイサービス等の利用希望がある場合には、必要な情報を提供したり見学の場を提供する。					
地域支援・地域連携		市の福祉こども相談センターや保健師からの紹介や健診後の療育教室「わかめサークル」からのつながりが主となるために日常的に連携を持っている。児童発達支援：定期利用の児については、医療機関や訓練機関での情報も保護者と共有しながら取り組んでいる。親子教室の児についても市の福祉こども相談センターや保健師との連携が必要である。並行通園をしているじについては、それぞれの園とも連携しながら取り組んでいく。放課後等デイサービス利用児（訪問教育）については、特別支援学校とも連携しながら取り組んでいく。また緊急時に備え学習室とつくしの家本館との間で、インターホンによる呼び出しやトランシーバーによる訓練行ってもいる。利用に当たっての「サービス等利用計画」を担当する相談支援専門員とも連携しながら安心して必要なサービスを利用できるように支援していく。						職員の質の向上		年間で計画する職員研修や、毎月2～3名の記録・個別支援計画内容の確認をするケース会において、担当以外の児についても職員全員で確認していく。感染症や災害（防災）等については、必要に応じて話し合う場を持つと共に、園で策定してい「安全計画」や「業務継続計画（BCP）」についても必要に応じて見直しを行いながら取り組んでいく。また年度末には「保護者評価」及び「自己評価」を行い、その結果についても全員で読み合わせ確認していく。					
主な行事等		4月：入園式、保護者学習会、就学の流れ説明会（年長児）、5月：尿検査、特別支援学校等見学、6月（7月）：内科健診、保護者学習会、8月：夏休み（希望保育）、9月：おたのしみ会、希望参観会、秋の相談、10月：運動会、11月：内科健診、12月：クリスマス会、2月：希望参観会、3月：卒園式 ※毎月：防災訓練、年4回：民生委員さんとお散歩交流、年間を通してボランティアさん、実習生の受入れ													